



## グローバル時代における “京都らしさ”の高揚

西 島 安 則

“わたしたち京都市民”が、21世紀の京都の時代を拓くための「構想」をねっている中で度々出てきた“京都らしさ”という柔らかかで奥行きのある深い表現には、久しい歴史を通して、いつも文化首都でありつづけたこのまちの強い矜持がこめられています。その具体的実現のための「計画」が第一歩を踏み出しました。ここで、安らぎのある暮らし、華やぎのあるまち、そして、信頼で結び開かれた生き活きとした新しい時代を拓く力強い文化首都の創生について、さらに掘り下げて点検しました。

このグローバル化時代に、京都市民が“京都らしさ”の高揚に真剣に取り組むことは日本の文化力のために大切なことと信じています。

『京都市基本計画点検結果報告書』のはじめに」より

---

にしじま やすのり 京都市産業技術研究所長，京都大学名誉教授，京都市立芸術大学名誉教授。工学博士。京都大学総長，京都市立芸術大学学長などを歴任。専門分野は，高分子化学，光学・光物理学。2004年11月瑞宝大綬章受章。